

1 年次前期・必修

1 単位・15 時間

【概要・目的】

小児看護学

本科目は、乳児期から思春期までのライフステージにおける人間の成長・発達について学修する。

【到達目標】

- 1) なぜ、各ライフステージにおける発達を学ぶのか理解できる。
 - 2) 乳児期から思春期まで主な発達理論について理解できる。
 - 3) 乳児期から思春期までの発達支援について述べることができる。
-

【内容・スケジュール】

1. ライフステージと人間発達 なぜ、発達を学ぶのか？
 2. 小児期の発達理論（エリクソン・ボルビー・ピアジェを中心に）
 3. 乳児期の成長・発達①
 4. 乳児期の成長・発達②
 5. 幼児期の成長・発達①
 6. 幼児期の成長・発達②
 7. 学童の発達と健康
 8. 思春期の発達と健康
-

【評価】

筆記試験（80%）、出席状況および参加態度など（20%）

【教科書】

小児看護学Ⅰ 小児看護学概論・小児看護技術改訂第4版（二宮啓子他）

小児看護学Ⅱ 小児看護支援論改訂第4版（二宮啓子他）

【推薦参考図書】

講義内で随時紹介する。

【その他】

m-inoue@wakayama-med.ac.jp

講義の前に必ず、復習をします。講義には、配布した資料、事前学習課題、教科書を持参し、質問に答えられるようにする。事前学習課題は提出用と自分用（手持ち）を準備してください。